

# 宮城県地方税滞納整理機構通信

# 納めLINE

平成25年度  
第4号

納めてください(標準語)  
納めらいん(宮城の方言)  
納めLINE(通信紙名)

## 県内一斉インターネット公売落札結果 落札件数と申込件数が増加

今回で5回目となる県内一斉インターネット公売が、昨年11月に機構参加市町村など19団体により実施されました。

公売品数は動産、不動産合わせて187件で、入札参加申込は2千773件と出品数の増に伴い昨年度より22%の増となりインターネット公売が注目され、浸透してきていることが感じられました。

落札品では、見積価額100円の鉱石セットが434倍の4万3千4百円で最高落札額だったのをはじめ液晶テレビやネックレスなどが高倍率で落札されるなど153件の落札品がありました。落札価額の合計は約85万円と昨年度よりも少ない結果となりました。

落札価額が低下した要因としては車などの高額落札品が無く全体的に低価格の落札が多かったことから、落札された方が市場価格よりもお得に入手出来たものと考えられます。

今年度の下見会の来場者数なども昨年度より少ない結果となり寂しいところではありましたが、落札された品物の数と入札数は昨年度よりも増加していることから、注目の集まっているインターネット公売を通じて、捜索や動産の差押による滞納処分を広く周知するために、今後も日々努力してまいります。

塩竈市出品 鉱石セット



434倍  
見積価額 100円 → 落札価額 43,400円

※インターネット公売の詳細については、  
ヤフー官公庁オークションをご覧ください。  
<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

## 捜索7つ道具 徹底解説 第6回

今回ご紹介するのは防犯用品です。

幸いな事にまだ活躍した事はありませんが、万が一、捜索員に危害が及ぶ恐れがあると捜索長が判断した場合、ブザーを鳴らし、捜索員に知らせます。

危害を加えようとした相手も、ブザーの音に驚いて、怯む効果も期待できます。

そういう危険性が予想できれば、事前に警察に相談する等の対応が可能ですが、捜索現場



場では、予期せず突発的なアクションが発生する場合があります。捜索現場を指揮する捜索長は、安全にかつ短時間で捜索が遂行できるように常に目配りを怠りません。捜索員は捜索長の指揮命令の下粛々と捜索を行います。

防犯用品はいざという場合の備えではありませんが、こうした用品を使わずに済む事を願っています。

今後も、機構では捜索等による徹底した財産調査や滞納処分等を実施し、早期の滞納解消を目指します。

## 機構活動状況

平成25年11月末現在

11月末時点の徴収率は、機構設立以来最高の成績となった前年度と同水準を維持しています。

今年度は捜索が32件、差押が236件



大規模捜索の事前打合せの様子

徴収状況 (両年度とも11月30日現在)

	平成25年度	平成24年度
引受件数(件)	839	933
引受税額(千円)	902,395	1,134,327
徴収済額(千円)	330,457	413,668
徴収率	36.6%	36.5%
本税完納件数	210件	239件
捜索件数	32件	111件
差押件数	236件	458件

と昨年度よりも滞納処分件数が少ないにも関わらず、徴収率及び完納件数が前年と同水準という興味深い結果となっています。

# 実録 搜索レポート

事前のアポを取らないで搜索に行くこと母親のみ在宅でした。母親に立会人になってもらえれば搜索できたのですが、搜索長は母親から滞納者へ連絡してもらおうことを選択しました。

滞納者は母親に搜索の立会人を頼んでいましたが、母親から「何言ってるの!」と一喝され急ぎよ仕事場から帰宅することに、しばらく待つことになりました。

滞納者の自宅前で黒い作業着の搜索員が待機している様子は、異様な物々しさがあろうで、隣近所の方は窓を少しだけ開けて「何



たまたま在宅していた母親は、大勢の搜索員が自宅に入ってきて、これからどうなってしまうのかと頭を抱えて不安そうにしていたので、不安を和らげるように声を掛けて部屋で待つように気遣いました。

搜索員は、換価可能な財産を次々と発見して差押し、財産以外にも住宅ローン会社からの家の売却に関する文書を発見

か事件でもあったのかしら」というような顔で、こちらをのぞいているのが見えました。母親からの一喝で滞納者が飛んで帰ってきたら搜索長が厳しい表情で搜索を宣言して搜索が開始されました。

し、貴重な情報を得ることもできませんでした。今回の搜索で搜索長が「待つ」判断をしたのは、在宅していた家族では搜索される負担や不安に耐えられないと見極め、滞納者本人と接触して早期解決を図るための判断でした。

## 機構職員のヴォイヌ

「滞納整理機構に行って勉強してきてくれないか!」

上司から突然言われた派遣の話でした。「そろそろ異動かな?」と思っていたところだったので、まさか自分が行くことになるとは思っていませんでした。私は税務経験はあるものの、ほとんどと言っているほど滞納処分とは関わりのない業務を行っていました。機構の活躍を耳にしていたこともあり、実際に機構への派遣が決まった際、果たして機構の一員としてどこまでやれるのか、期待よりも不安やプレッシャーの方が大きいというのが正直な気持ちでした。

## 職場見学会を実施しました



先日、平成27年春に卒業予定の学生を対象とした職場見学会「オープンオフィス in 宮城県庁」が開催されました。

希望されたとのことでしたが、国税だけでなく県や市町村でも家宅搜索などの強制処分を行っているのは意外だったようです。その後学生さんからの質問に(個人的見解で)お答えしました。少しでも県庁の雰囲気を感じ取ってもらえたら幸いです。職員採用試験に向けて頑張ってください、いつか一緒に仕事をすることができたら嬉しいです。

市町村からの案件引受ヒアリングを行ったら即実践です。徹底した財産調査のもと、差押や搜索といった滞納処分をする一方で、丁寧な納税相談等を通じ、滞納者との信頼関係の構築を大切にしています。

## ご意見・ご要望はこちらへ

宮城県地方税滞納整理機構

(宮城県総務部地方税徴収対策室内)

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022-211-6681

FAX 022-211-2289

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/choutai/



機構キャラクター おさむね君

この9ヶ月間でさまざまなことを経験してきましたが、特に印象に残っているのは、「初めての預金差押」です。高額滞納案件ということもあり、周りの先輩方の助言や支えをいただきながら滞納整理にあたり、差押後こそ強硬だった相手の態度も、繰り返し折衝していく過程で軟化し、税の公平性を理解していただいた上で、その後、現年も含めた自主納付による完納、今後は口座振替による納付、と滞納の解消、納税意識の変化へと繋がったものと思っています。

これまでの機構での経験や身につけた手法を今後、地元に戻ってから生かせるように、また、市町村財政の根幹を担っているとの自負を持ち、使命感を持って頑張っていきたいと思えます。